

### 1. 留学の理由・目的

事業の海外展開が著しい日本のモノづくり産業に対し、私は将来グローバルに活躍する技術者として貢献したいと思っています。私はこのグローバルに活躍する技術者を目指すにあたり、海外での研究活動の経験が非常に重要だと考え、留学することを決心しました。

留学先はアメリカのサウスイースタンルイジアナ大学で、期間は2017年8月～2018年1月の約半年間です。研究に関するディスカッションやプレゼンを通して、海外での研究活動を体感してきました。

### 2. 留学先での学習・活動と生活環境

研究がメインの活動で、基本的には朝から晩まで研究室にこもっていました。時には他大学の実験設備を借りに行くこともあり、様々な国籍の学生および研究者と交流することができました。さらに、留学の集大成としてアメリカ物理学会（APS Southeastern Section）で研究成果を発表したのですが、一流の物理学者とのディスカッションを交えながら発表できたことはとても良い経験となりました。

また、留学中はアパートを借りてシェアハウスしていました。日本にいと外国人と生活する機会はないので、新鮮な感じでとても楽しかったです。ちなみに、アメリカの物価はとて高いので、外食はあまりせず節約のために自炊をしていました。お昼ご飯は学内にあるサブウェイか手作り弁当を食べていました。

### 3. 一日あたりのスケジュール

#### 平日

7:30 起床→8:00 研究室へ→8:00～12:00 実験→12:00～13:00 お昼休憩→13:00～19:00 講義・実験→21:00 夕食→21:00～24:00 自由時間もしくは実験データの整理→24:00 就寝

#### 休日

8:30 起床→8:30～12:00 課題やプレゼンの準備→12:00 昼食→13:00～18:00 研究室メンバーと釣り→19:00 夕食→20:00～24:00 課題やプレゼンの準備→24:00 就寝

### 4. 語学がどのくらい上達したか

帰国後に TOEIC などの試験を受けていないので、数値的に語学力の上達を示すことはできませんが、リスニングとスピーキングの能力に関しては格段に上がったと実感しています。正直、私はもともと英語があまり好きでもないし、得意でもありませんでした。しかし、無理やりにでも英語を話そう、聞こうとする積極性はあったので、研究に関するディスカッションやプレゼンを通して、必然とこれらの能力は上がりました。最終的には、銀行や不動産屋での実用的な英会話も難くこなせるようになりました。

## 5. トビタテで留学してよかったこと

同じ志、同じ熱い夢を追いかける仲間に出会えることです。トビタテに合格すると、留学前に事前研修というものに参加することになります。そこには少し変わった人や、破天荒な夢を持つ学生がたくさんいます。しかし、私を含め、彼らの夢をバカにする人はいません。それどころか、お互いの夢について熱く語り合い、励まし合うのです。私自身、事前研修に参加してみて、将来の夢や留学に対する決意がより強固なものになりました。

また、留学資金の面でもよいことがあります。トビタテで留学すると手厚い資金援助を受けます。渡航費、生活費、授業料などの全てを賄える上に、旅行をする余裕さえあります。私の場合、留学中にアメリカ中を旅しました。通常の留学では経験できないようなことも、トビタテで留学すれば自分次第でありとあらゆる経験ができます。

トビタテは、あなたの留学をより豊かなものにしてくれることは間違いありません。もしトビタテに少しでも興味がある方は、まずはネットで調べてみてください。

## 6. 留学を考えているあなたへ

思い立ったが吉日。留学に少しでも興味があるあなた、とにかく行動しましょう。頭の中でモヤモヤ考えていても何も始まりません。留学に対する不安があれば誰かに相談する、留学したいけれど何をすればいいかわからなければ、ネットや大学の留学交流推進課で情報を得る。すぐにできることはたくさんあります。私は今回の留学で、将来の夢に一步近づいたと実感しています。是非、あなたも留学に行くことで、将来の夢に向けた一步を踏み出してください。



